

大量のごみが

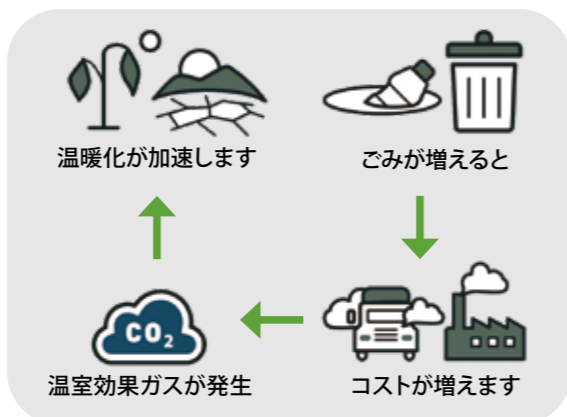
環境汚染の引き金に

ごみの量が増えることにより、ごみを焼却する際に大量の温室効果ガスが発生します。そのことだけではなく、ごみを焼却場まで運搬する際にもパッカー車などからも温室効果ガスが発生しています。ごみをひとつ多く排出することが、地球温暖化の加速につながり環境汚染の原因となります。

ごみの減量はなぜ必要

ごみは、日常生活の中で必ず発生するものです。令和元年度の全国のごみの排出量は前年と比較して横ばいとなっており、4274万トンとなっています。それに伴い発生するごみの処理にかかる経費は年間約2兆円になります（環境省 令和元年度）。「出せばごみ、分ければ資源」町民一人ひとりの心がけが変わることとごみの量を減らし、ごみを資源に還元することができます。

環境汚染の例



燃やせるごみを減らすための取り組みを紹介します

私たちの生活で最も身近でよく排出するごみは、燃やせるごみです。町内の燃やせるごみの内訳をみると、紙・布類、厨芥類・野菜くずが全体の約8割を占めています。これらのごみを減量することで、ごみの全体量を減らすことにつながります。

燃やせるごみを減らすための4つの取り組みを紹介します。正しく分別し資源化につなげましょう。

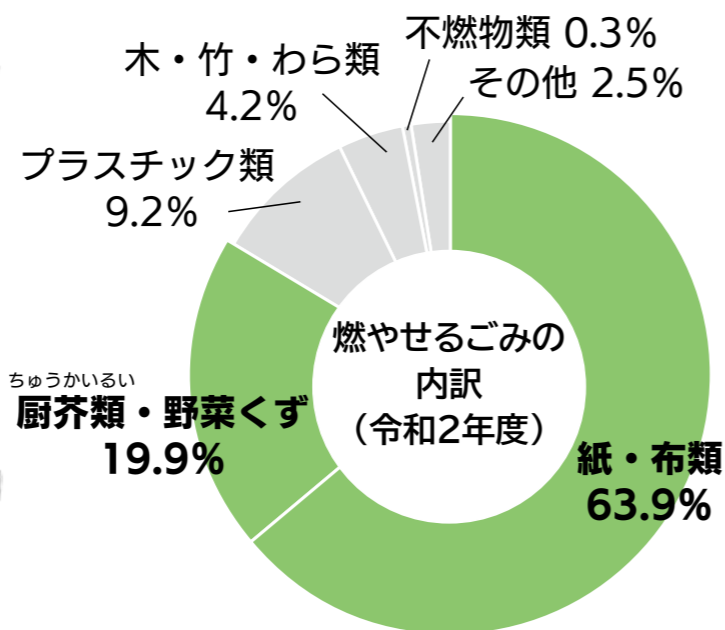
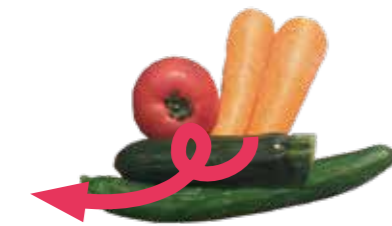
紙は分別してリサイクル



古着はリユース・リサイクル



食品ロスを減らして生ごみは堆肥に



皆さんが排出している紙・布類、厨芥類(※)・野菜くず 約8割 減量させましょう!!

※厨芥類…台所から出る食物を調理した後のくず

「出せばごみ、分ければ資源」

問合せ/環境衛生課

(979) 8112



▲ごみ焼却場のピットに集められた大量のごみ

1日あたり「ごみの量」

県内ワースト8位

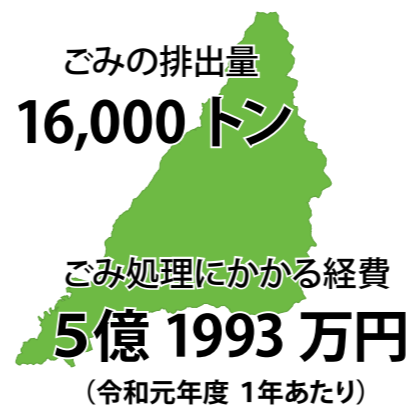
函南町と近隣市町とのごみ排出量の比較 (令和元年度)

Table comparing waste output per person per day between various municipalities and the county average.



差は273g

▲生活系のごみと事業系のごみを含めて算出



町のごみの排出量は、令和元年度1万6004トンで、1人あたり1日に出すごみの量は1158グラムです。これは、県内35市町の中でワースト8位となっています。皆さんは普段ごみを捨てるときに何か意識していることはありませんか。何気なく捨てているごみの中にたくさんリサイクルできるものが含まれていて、分別することにより減らす余地がまだまだあります。今回は日常生活とは切り離せないごみの正しい分別の方法についてお知らせします。